

2019年度事業報告

(2019年1月1日～12月31日)

公益社団法人東京都ペストコントロール協会の会員の現況及び実施した主な事業は、次のとおりである。

第1 会員状況

(2019.12.31現在)

区 分 \ 年 度	2019.1.1現在	2019.1.1～2019.12.31		現 在 員
		入会	退会	
正 会 員	116	3	1	118
賛助会員	7	0	0	7
合 計	123	3	1	125

第2 主な事業

ねずみ・害虫などの有害生物の被害に悩まされている都民の生活環境から有害生物を防除するとともに必要な防疫活動を行い、衛生的で快適な生活環境を保持増進させることによって都民の健康と福祉の向上に寄与することを目的として、次の事業を行った。

I 公益目的事業

1 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する調査研究事業

有害生物の生態、被害状況、防除法等全般について、都レベルの調査研究を行う。調査研究は、協会の技術委員会が現場調査、有害生物関係の学会の発表・会員の研究成果等の資料の収集、分析、アンケート調査等を行うことにより進める。その成果については、都内の防除防疫業者、都民、保健所、区市町村、その他関係者に情報提供し活用を図った。

(1) 緊急に対応が求められる衛生害虫等の情報収集と調査研究

ヒトスジシマカ等の感染症を媒介する衛生害虫及びヒアリ、アカカミアリ、アルゼンチンアリ、ツマアカスズメバチ、セアカゴケグモ等の海外及び発生地域から移入した有害生物等に関する情報を積極的に収集するとともに防除法等を調査研究して適切な防除対策等を都民に周知する。特にヒトスジシマカについては、都と連携して模擬殺虫などの実地訓練を継続し、より安全・効果的な駆除法を求めて調査研究を進めた。

環境省、国土交通省、東京都等からアリの生息調査、駆除の依頼を請け負った際に、その結果を活用して、アルゼンチンアリは港湾部において広く分布していること及びヒアリについては特定の場所に分布し冬季でも発生することを確認し、それぞれ駆除を実施した。

(2) ホームページ「害虫相談コーナー」の充実及び活用

都民からの害虫相談に役立つように、ねずみ、ハチ、ハクビシン等43種の害虫獣ごとに、その被害、侵入口、営巣場所、防除法等について調査研究してホームページに掲載している。平成31年度も引き続き、これらの害虫害獣全体を通して統一のとれた記述項目・記述内容となるように編集する。併せて新しい記述項目及び現在都民が関心を持っている害虫獣に

についても取り上げる等準備を進めた。

害虫相談については、増加傾向の著しい種類、相談の多い種類について10年分、季節的な消長については5年分のデータをまとめた。急増の著しい種類はハクビシン、アライグマ、コウモリ、トコジラミであり、相談上位の種類はハチ、ネズミであった。本件は「生活と環境」誌に掲載し、さらに日本ペストロジ学会にて報告した。

(3) オリンピック・パラリンピックに向けた有害生物対策

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの開催期間中に有害生物による感染症の発生や不快害虫が発生することに備えて、オリンピック・パラリンピック競技施設及び宿泊施設周辺において発生が考えられる有害生物の害種のハザードマップおよびリスクアセスメントを東京都に提案した。

有害生物対応では、東京都の宿泊施設に日本協会が作成したトコジラミQA集を配布し、防除知識の普及を図ることとなった。また蚊については東京検疫所や東京都で蚊のサーベイランスポイントの増設を検討している。サーベイランスの結果によっては、例えばネツタイシマカ捕獲、デング熱チクングニヤ熱等の発生時には防除に出動する準備は整えた。

また、国立感染症研究所の提唱により新宿御苑において、蚊成虫駆除の演習を行い、その様子はテレビ、新聞で報道された。

(4) 感染症対策実施計画書の拡充

2017年度に策定した感染症予防衛生隊の運用マニュアル「感染症予防衛生隊実施計画」について現実に運用しながら、問題点、不足部分、安全面、効率性等の視点から①組織図及び連絡フローの整備 ②作業を行う者の研修の必修化 ③社内研修会の実習及び薬剤等の保管状況の確認を年1回に変更等の見直しを行った。

(5) 感染症対応マニュアルの改訂

2015年に、感染症消毒、媒介蚊対策、高病原性鳥インフルエンザ対応、災害時対応等の各マニュアルを各章にまとめ、「感染症マニュアル」として策定した。

近年、地球温暖化により大型化した台風、集中豪雨等が原因で都内においても大規模な水害の発生が想定されるので、発生した場合に備えて人材の確保、必要な薬剤・機材等について災害時対応の章を改訂した。

併せて、他の章についても新しい知見を基に作業方法、薬剤、資器材等の見直しを行い、感染症対応マニュアルを全面的に改訂をした。

(6) 生活弱者宅におけるねずみ・害虫対策について

独居の高齢者、極端な低所得世帯等のいわゆる生活弱者宅におけるねずみ・害虫対策について、環境的・経済的理由により対応困難な事例が少なからず発生している。こうした事例に対して解決の方策はないか検討を進めた。

第一段階として昨年度に協会員を対象にアンケート調査を実施し、該当件数・事例等を把握した。今年度はこの調査結果を基に行政・関係諸機関に「公的援助」「行政による支援」制度等についてアンケート調査を実施し、結果を集計・分析した。

2 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する知識の普及広報事業

有害生物による被害を予防し被害を受けないように、都民を対象に有害生物の生態と防除法等に関する知識の普及広報を図る一方、現実被害を受け悩まされている都民からの相談に応じて適切な助言・指導を行った。

(1) 害虫相談所

① 害虫相談所における相談

協会は、有害生物の被害に悩まされている都民の相談に応じるため害虫相談所を設置し、相談員及び統括責任者が無料にて電話又は現地調査を実施して適切な助言、指導を行った。なお、相談者から施工の依頼があれば必要に応じて有償にて施工した。

相談所設置数 74所

相談件数 8,735件（害虫種別・月別相談件数表は17頁に、相談者住所別件数表は18頁に記載）

② 環境フェア等における相談

多くの住民が集まる環境フェア（区民まつり）等に積極的に参加し、来場した住民から害虫防除の相談等を受けて適切な助言・指導をする他、防除知識の普及を図った。

会場 11所

あきる野市環境コーナー、西東京市環境フェスティバル、府中環境まつり、調布市環境フェア、羽村市環境フェスティバル、東大和市環境市民の集い、おうめ環境フェスタ、こだいら環境フェスティバル、環境フェスティバル（都環境衛生協会）、むさしの環境フェスタ、中央区健康福祉まつり

③ 蚊のぶーン蚊祭（All Japan Mosquito Festival）の後援

6月29・30日の2日間、日本科学未来館において、蚊に関する研究者、薬剤・機器メーカー、PCO等が集まり、もっと知ろう蚊の世界をテーマに「蚊のぶーン蚊祭」をわが国で初めて開催した。会場では子供から大人までの来場者（2日間合計2927名）に対して蚊と感染症を媒介する蚊について、パネル、実験等により知識の普及活動を行った。協会は害虫相談コーナーを設け来場者からの蚊その他の害虫について相談を受けたほか、当日の普及活動にボランティアとして協力した。

④ ねずみの防除指導

武蔵野市からの依頼により住民を対象にねずみの生態及び防除方法等について地域単位で講演会を開催し、必要に応じて現場調査及び簡易な防除施工等を行った。

⑤ リーフレットの作成及び配布

有害生物の生態及び防除方法等に関する内容が平易に記載されているリーフレット（シラミ、シロアリ、ダニ、ゴキブリ、ネズミ、ハチ、蛾の仲間、アリと甲虫類、カビ、ドバト、蚊、トコジラミ等12種）を印刷して保健所及び区市町村に配布し、害虫相談に訪れた住民の指導用の資料として活用してもらった。併せて「自治体の環境フェア（区民まつり）」等の来場者に配布し、害虫相談及び防除知識の普及に活用した。また、ホームページに掲載して広く情報を提供した。

規模 17,000部

●2019年度 害虫相談件数（1月1日～12月31日）

(1) 害虫種別・月別相談件数

害虫種	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	2018年	差引増 △減
ハチ類 (スズメバチ・ミツバチ以外)	6	6	11	48	108	219	503	734	586	189	38	6	2,454	2,544	△ 90
ネズミ	180	171	124	131	169	163	190	148	175	256	263	251	2,221	2,023	198
スズメバチ	1	2	1	5	55	82	184	271	284	124	29	3	1,041	856	185
ハクビシン	52	51	40	45	64	52	81	32	51	53	71	51	643	611	32
ハト	19	22	26	36	58	57	49	35	36	23	15	11	387	337	50
南京虫(トコジラミ)	3	4	10	10	16	40	39	29	38	32	15	10	246	166	80
シロアリ	4	6	12	29	72	23	19	13	14	10	9	7	218	184	34
鳥(ハト・カラスを除く)	8	6	15	14	52	9	12	2	6	1	2	1	128	116	12
コウモリ	3	1	1	5	13	14	14	23	17	11	5	8	115	117	△ 2
ダニ	6	2	3	5	6	9	17	11	21	12	8	5	105	75	30
鳥の巣	2	0	0	0	19	40	21	11	6	2	1	2	104	121	△ 17
アリ	1	0	0	4	8	14	15	17	17	11	4	0	91	124	△ 33
タヌキ	4	5	4	3	7	2	13	9	5	8	13	6	79	46	33
ゴキブリ	3	2	2	3	7	8	12	5	15	10	7	4	78	59	19
ヘビ	1	0	0	2	12	19	18	10	9	5	1	0	77	83	△ 6
ハエ	2	1	0	9	10	3	7	20	11	10	2	1	76	53	23
カラス	1	2	7	9	28	11	6	2	4	2	1	0	73	106	△ 33
樹木害虫	0	0	0	1	12	6	6	6	20	15	5	0	71	70	1
アライグマ	3	1	2	3	13	6	4	1	4	2	5	3	47	47	0
殺菌	0	2	0	0	0	1	1	2	0	27	3	0	36	24	12
モグラ	1	1	4	1	2	1	4	4	1	4	4	3	30	25	5
ミツバチ	0	0	0	5	7	2	8	4	0	0	0	0	26	42	△ 16
ネコ	1	0	4	4	1	4	2	6	2	0	0	2	26	49	△ 23
タカラダニ	0	0	0	3	16	0	2	0	0	0	0	0	21	9	12
ムカデ	0	0	0	0	7	4	2	2	1	1	1	0	18	17	1
蚊	0	0	0	0	4	6	0	1	2	2	1	1	17	14	3
シバンムシ	0	0	0	0	1	0	1	5	2	4	1	0	14	14	0
ノミ	0	0	0	0	0	1	2	4	4	2	0	0	13	8	5
キクイムシ	1	0	1	0	0	1	2	0	0	1	0	0	6	7	△ 1
死体臭	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	0	0	6	0	6
ユスリカ	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	△ 1
ウジムシ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	△ 1
シラミ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	△ 1
汚水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	△ 4
その他	5	3	6	13	24	27	24	24	30	11	10	2	179	154	25
不明	9	2	5	2	10	13	8	9	10	7	3	7	85	193	△ 108
** 合計 **	316	290	282	390	801	839	1,267	1,442	1,371	836	517	384	8,735	8,305	430

(2) 相談者住所別件数

千代田区	中央区	港区	新宿区	文京区	台東区	墨田区	江東区	品川区	目黒区
73	112	235	173	139	99	109	218	101	183
大田区	世田谷区	渋谷区	中野区	杉並区	豊島区	北区	荒川区	板橋区	練馬区
348	373	199	206	122	157	93	70	465	20
足立区	葛飾区	江戸川区							
225	127	301							
八王子市	立川市	武蔵野市	三鷹市	青梅市	府中市	昭島市	調布市	町田市	小金井市
324	27	164	150	178	300	178	354	553	202
小平市	日野市	東村山市	国分寺市	国立市	福生市	狛江市	東大和市	清瀬市	東久留米市
261	275	54	145	108	63	58	38	148	49
武蔵村山市	多摩市	稲城市	羽村市	あきる野市	西東京市	奥多摩町	檜原村	日の出町	瑞穂町
5	221	109	60	37	105	2	0	14	40
不明	他県								
330	35								

(2) 第11回ベストコントロールフォーラム東京の開催

有害生物に関する学識経験者、行政の担当者等を講師に、行政担当者、施設・学校等の職員、一般都民、会員等が参加するフォーラムを開催した。

有害生物の防除、感染症の流行の仕組み及びその対策等についての知識の普及を図り、良好な生活環境を維持向上させることを目的としている。なお、衛生隊責任者及び害虫相談統括責任者の選択研修を兼ねており、有料1人5,000円の受講料を徴収した。

開催月日 2019年7月5日（金）

会 場 武蔵野公会堂

参加人数 201名（一般47名、行政28名、会員126名）

演題及び講師

(1) スーパートコジラミの現状 ーわが国で何が起きているか?!ー

豊島区池袋保健所 矢口 昇

(2) トコジラミ類の現状とその防除

ートコジラミ、ネッタイトコジラミ、ツバメトコジラミ、コウモリトコジラミー
技術委員 小松 謙之

(3) 機関誌の発行

有害生物の防除防疫に関する専門的な知識及び技術等に関する話題について掲載し、東京都・区市町村、保健所、国会図書館、都内公立図書館、正会員、賛助会員、業界関係者等に無料配布し防除防疫知識の普及を図った。またホームページにも掲載し広く情報提供した。

規模 650部、年2回発行

特集と一般都民向け記事

2019年1月号 技術の広場 ・外来アリとその対策 ーアルゼンチンアリとヒアリを中心にー

・東京都における感染症媒介蚊サーベイランスの結果

ノロウイルスとその消毒

質問の窓 ・ネズミはどこから住宅に入ってくるのですか？

2019年7月号 特集 ・2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた衛生害虫対策
の重要性：蚊媒介感染症を中心に

質問の窓 ・就寝中に虫に刺されます。捕まえてインターネットで調べたらトコジラミのようです。どのように対処したらいいですか？

技術の窓 「野良猫にお困りではありませんか。」

3 ねずみ・害虫などの有害生物の防除及び防疫に関する技術の向上

有害生物の防除及び防疫活動の従事者等を対象に、専門家として必要な最新の知識及び技術を修得するための研修会を開催した。

(1) 第39回防除作業従事者研修会

協会員及び協会未加入の防除防疫作業の従事者、保健所及び区市町村の職員等を対象に開催した。協会は建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第29条第4号ロに規定する防除作業従事者研修登録機関として厚生労働省に登録し、かつ講師についても登録している。防除防疫作業に必要なレベルの内容について研修した。受講料は1人6,480円。防除防疫従事者以外の受講者は無料。

開催月日 2019年6月14日（金）

会 場 （公財）日本環境整備教育センター

受講者数 120名（会員73名、非会員31名、行政16名）

カリキュラム

（敬称略）

第1時限	建築物の環境衛生行政	東京都健康安全研究センター広域監視部 建築物監視指導課 課長代理 和田 俊和
第2時限	防除作業の安全と衛生	（公社）東京都ペストコントロール協会 技術委員 伊藤 弘文
第3時限	殺鼠剤の種類と使用方法	（公社）東京都ペストコントロール協会 理事 谷川 力
第4時限	殺虫剤の種類と使用方法	住化エンバイロメンタルサイエンス(株) PC営業部グループリーダー 中尾 加津巳
第5時限	建築物構造や設備とねずみ 昆虫等の防除	（公社）東京都ペストコントロール協会 技術委員 小松 謙之
第6時限	機械器具の種類と使用方法	環境機器(株)営業開発部 シニア技術コンサルタント 菅野 格朗
第7時限	ダニの生態と防除	（公社）東京都ペストコントロール協会 技術委員 佐々木 健

(2) 害虫相談所研修会

2020年度開設予定の害虫相談所統括責任者及び相談員を対象に最新の防除防疫知識及び技術の修得と併せて、相談者（都民）からのアンケート結果を基に害虫相談所の適切な運営を図ることを目的として研修会を開催した。

開催月日 2019年12月6日（金）

会 場 （公財）日本環境整備教育センター

相談所数 72所

受講者数 統括責任者80名
相談員103名

カリキュラム (敬称略)

第1時限	2019年度害虫相談所報告	害虫相談委員長 藤田 洋三
第2時限	感染症予防衛生隊の活動	感染症委員長 渡辺 徹
第3時限	害虫相談の現況	技術委員長 谷川 力
第4時限	接客マナー	害虫相談委員 松永 肇
第5時限	カンザイシロアリの現状	害虫相談委員 田中 勇史
第6時限	ダニの生態と防除	技術委員 佐々木 健
第7時限	高齢者・生活保護者アンケート	害虫相談委員 大山 克幸

(3) 感染症予防衛生隊の研修

感染症の発生予防及びまん延を防止することを目的として設置されている感染症衛生隊が、隊員の安全を確保しつつ効果的に消毒業務を遂行できるように研修を行った。

① 「研修感染症予防衛生隊実施計画」に基づく研修

開催月日 2019年5月27日

会場 アルカディア市ヶ谷

受講者数 60名（登録済み衛生隊20隊48名、2020年度登録予定4隊11名、研修1名）

カリキュラム (敬称略)

第1時限	感染症対策 総論 II (東京都感染症マニュアルの解説)	東京都福祉保健局健康安全部 感染症対策課 赤木 孝暢
第2時限	常総市水害対策について	(一社)茨城県ペストコントロール協会 会長 梅沢 謙二
第3時限	防護服及び呼吸用保護具の 取り扱い方法と着脱訓練	感染症委員会 委員長 渡邊 徹、委員 下川 正義

② 東京都が平常時において実施する感染症媒介蚊のサーベイランス事業のうち蚊の捕集及び捕集した蚊の搬入業務を受託して、蚊が媒介する感染症発生時に、感染症の病原体を保有する蚊の生息状況調査及び駆除をすみやかに実施できる能力を維持向上させることを目的に研修を実施した。

4 ねずみ・害虫獣などの有害生物の防除及び防疫活動

都、区市町村、東京消防庁等の行政等からの要請により、感染症予防衛生隊が出動し、感染症の発生予防及びまん延防止のための殺虫殺菌消毒薬の散布作業を行う。

感染症予防衛生委員会担当の副会長・担当理事を中心に速やかに出動できる体制を整え、技術委員会とともに次の事業を実施した。

(1) 平成31年度特定外来生物モニタリング調査

東京都から委託され4月から11月にかけて、東京港内バンブールにおいて特定外来生物であるヒアリ等の生息状況調査と確認された個体の防除を行う。併せて既往の調査で確認されているアルゼンチンアリ等の根絶に向けた防除を行った。

(2) 令和元年度空港でのヒアリ確認調査

国土交通省が実施する国際便が就航する空港（羽田空港他11空港）におけるヒアリ確認調査業務を日本協会が請け負い、空港所在地の各協会が調査を行った。

東京協会では羽田空港において7月31日、10月25日、11月5日に調査を行った。調査の結果ヒアリの生息は確認されなかった。

(3) 令和元年度港湾におけるヒアリ緊急防除

環境省が実施している全国港湾調査の1所である東京港青海ふ頭において、ヒアリを確認したので、環境省からその防除業務を日本協会が請け負い、東京協会が11月から翌年3月にかけて月2回ずつアリア用殺虫剤を5mおきに設置する作業を行っている。

(4) 世田谷区床上浸水家屋消毒

19号台風による床上浸水家屋の消毒作業に10月21日・26日の両日出動した。

(5) ミカンコミバエ発生調査の確認

東京都産業労働局からの依頼により植物防疫法上、農業生産に重大な被害を与えるミカンコミバエの発生の有無を調査する目的で、都内15所の公園、都の施設等に9月26日から12月5日の間に2週間に1回合計5回トラップを設置し回収する作業を行った。

(6) 東京都が平常時において実施する感染症媒介蚊のサーベイランス事業のうちの蚊の捕集及び捕集した蚊の搬入業務を受託した。

・重点サーベイランス（9公園）

4月22日（月）～11月8日（金）

トラップ調査12回、発生密度調査（スウィーピング法）2回

幼虫調査（採水法）8回

・広域サーベイランス（16公園等）

6月10日（月）～11月1日（金）

トラップ調査10回

現在協定、契約を結んでいる行政等は次のとおりである。

(1) 東京都福祉保健局との協定

①「一類感染症等患者移送車両等の消毒業務に関する協定」

平成26年11月5日に締結。消毒業務に対する協会の協力に関する協定

消毒業務の範囲は患者移送後の搬送車、航空機、移送用陰圧装置（アイソレータ）並びに病原体に汚染された（疑いのある）場所

②「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」

平成22年3月26日に締結。蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に関する協会の協力に関する協定

(2) 東京消防庁との協定

「救急車等の消毒業務に関する協定」

平成24年12月1日に締結。

感染症の疑いのある傷病者を搬送した救急車等の消毒業務の実施に関する協定。

(3) 特別区との「感染症消毒作業委託契約」（区の事情により年度ごとに契約区数が異なる。）

区からの要請により感染症の患者発生宅等の消毒業務を行う。

- (4) 台風、集中豪雨等による洪水、地震等の災害発生時の消毒作業
新宿区、港区、中野区、渋谷区、目黒区と協定・契約
- (5) 武蔵野市との協定
「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」
平成27年3月31日に締結。蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に対する協会の協力に関する協定。
- (6) 多摩市との協定
「蚊が媒介する感染症の発生に備えた蚊の駆除業務等に関する協定」
平成29年3月27日に締結。蚊が媒介する感染症患者が発生したとき等に必要となる蚊の生息状況調査及び蚊の駆除等の業務に対する協会の協力並びに技術的助言等に関する協定。
- (7) 輸入動物の届け出制度に係る東京検疫所に対する協力
東京検疫所の要請により平成17年10月20日に協定を締結。
動物由来の感染症の国内侵入防止のため、旅行者が輸入する動物のうち、輸出国政府機関の衛生証明書のない動物を本人の承諾のもとに早急に殺処分する。
- (8) 東京検疫所と日本協会の覚書
検疫法第27条に定める感染症媒介の可能性のあるネズミ・虫類が見つかり、検疫所で対応できない場合に日本協会を通して防除依頼がある。
- (9) 東京港保健衛生管理運営協議会及び東京国際空港保健衛生管理運営協議会への参加
東京検疫所長(東京空港検疫所支所長)が会長、保健衛生に関する行政機関等が委員となり、検疫感染症等の国内侵入並びにまん延を防止することについて協議して公衆衛生の向上を目的とする協議会に2019年から参加した

II 収益事業等（その他の事業）

1 ブロック会の開催

協会活動の充実と発展を目的に、協会執行部と会員間の意見交換、連絡、会員間の情報交換の他、防除防疫に必要な最新の薬剤、資器材、感染症等に関する研修等を行った。

開催月日 2019年9月18日（水）

参加人数 77名（正会員64名、賛助会員12名、事務局1名）

2 団体賠償責任保険加入事務等

会員が施工する有害生物の防除及び防疫業務に伴うリスクをカバーする保険（請負業者賠償責任保険・生産物賠償責任保険）に団体加入する事務手続きを行った。

加入会員 50社

3 創立60周年記念事業の実施

2028年に協会の創立記念事業を実施するための費用を積み立てた。

Ⅲ 管理運営事項

1 総会の開催

定款に定める事項、事業計画、事業報告、その他協会の運営に関する重要な事項について会議を開催し議決・承認する。

第15回通常総会（2019年2月22日）

- ・平成30年度事業報告の件、監査報告の件、収支決算承認の件

第16回通常総会（2019年12月6日）

- ・2020年度事業計画決定の件、2020年度収支予算決定の件、2020年度資金調達及び設備投資の見込みの件

2 理事会の開催

定款に定める事項、総会の議決した事項の執行に関する事項、総会に付すべき事項、その他会務の執行に関する事項等について会議を開催し議決・報告した。

規 模 年9回開催

会 場 アルカディア市ヶ谷

開催月日	主な議題
1月29日 (第1回)	・平成30年度事業報告 ・ 監査報告 ・ 収支決算承認 ・第15回通常総会開催及び議題の決定 ・平成31年度害虫相談所設置承認 ・入会審査
2月22日 (第2回)	・害虫相談及び感染症予防衛生隊の研修科目の決定 ・感染症予防衛生隊研修会開催の決定
4月10日 (第3回)	・感染症予防衛生隊の新規登録の承認 ・感染症媒介蚊重点サーベイランス事業の受託 ・従事者研修会開催の決定
5月15日 (第4回)	・感染症媒介蚊広域サーベイランスの受託 ・ペストコントロールフォーラム東京開催の決定
6月19日 (第5回)	・中央区が実施する「地域ねずみ防除促進事業」対応方針の決定 ・高齢者・生活保護受給者宅等のネズミ・害虫対策に関するアンケート
7月17日 (第6回)	・デング熱等蚊媒介性感染症の発生を想定した訓練の実施 ・国土交通省実施の「令和元年度空港でのヒアリ確認調査等業務」受託 ・入会審査
9月18日 (第7回)	・日本協会内の全国的な防疫協力協定(案)の検討 ・ミカンコミバエ発生確認調査に係るトラップ調査受託
10月16日 (第8回)	・感染症予防衛生隊の組織及び運営に関する規則及び同細則改正
11月20日 (第9回)	・2020年度事業計画 ・ 収支予算 ・ 資金調達及び設備投資の見込みの件 ・第16回通常総会の開催 ・害虫相談所研修会の開催

3 事業活動

理事会に、総務委員会、害虫相談委員会、感染症委員会、技術委員会、編集委員会を設置して活動案を作成し、理事会の承認を得て協会の事業を執行した。